

令和 6 年度 10 月期

令和 7 年度 4 月期

金沢大学大学院新学術創成研究科

(博士前期課程)

# 学生募集要項

第 1 回～第 3 回

金沢大学大学院新学術創成研究科

令和 6 年 4 月

(注意)

出願する入学者選抜に関するすべての事項は、志願者本人が出願する入試区分の学生募集要項を熟読することによって、必ず本人の責任で確認してください。

## - 目次 -

出願手続から入学までの日程 .....	3
1. 新学術創成研究科の概要 .....	4
2. 募集人員 .....	4
3. 出願資格 .....	4
4. 出願資格認定申請手続 .....	6
(1) 出願資格認定申請方法 .....	6
(2) 出願資格認定申請期間 .....	6
(3) 出願資格認定申請書類 .....	6
(4) 認定審査の結果 .....	6
5. 出願手続 .....	6
(1) 出願方法 .....	6
(2) 出願期間 .....	7
(3) 出願書類 .....	7
(4) 出願及び受験にあたっての注意事項 .....	9
(5) 障がいのある者等の事前相談 .....	9
(6) その他 .....	9
6. 入学者選抜試験 .....	9
(1) 試験期日及び場所 .....	9
(2) 選抜方法 .....	10
(3) 合否判定基準及び評価基準 .....	10
7. 合格者発表 .....	10
8. 入学手続 .....	10
(1) 入学手続期間 .....	10
(2) 入学時に必要な経費 .....	11
9. 個人情報の保護 .....	11
10. 経済的支援制度 .....	11
(1) 入学料・授業料免除 .....	11
(2) 奨学制度 .....	12
11. 融合科学共同専攻に係る留意事項 .....	12
12. 連絡先 .....	12

## 出願手続から入学までの日程

	第1回	第2回 ※4	第3回 ※4
出願 ※1 ※2	令和6年 6月24日(月) 午前9時00分から 6月28日(金) 午後4時30分まで	令和6年 9月20日(金) 午前9時00分から 9月27日(金) 午後4時30分まで	令和6年 12月20日(金) 午前9時00分から 12月26日(木) 午後4時30分まで
受験票DL開始 ※3	令和6年 7月10日(水) 午前9時00分から	令和6年 10月9日(水) 午前9時00分から	令和7年 1月15日(水) 午前9時00分から
試験	令和6年 7月20日(土)	令和6年 10月19日(土)	令和7年 1月25日(土)
合格者発表	令和6年 8月2日(金)	令和6年 11月1日(金)	令和7年 2月7日(金)
入学手続	令和6年 9月中旬	令和7年 3月中旬	
入学	令和6年 10月1日	令和7年 4月1日	

※1 「3. 出願資格」の⑥, ⑨, ⑩又は⑪により出願を希望する者は, 出願前に別途審査を受ける必要があります。「4. 出願資格認定申請手続」を確認してください。

※2 Web 出願システムで, 出願期間の1週間前から事前登録することができます。

※3 Web 出願システムで, 試験当日までに受験票をダウンロードしてください。

**※4 第1回の志願状況等により, 第2回以降を実施しない場合があります。実施の有無については, 随時研究科 Web サイトを確認してください。**

研究科 Web サイト <https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

### 『自然災害により被災した志願者の検定料免除について』

金沢大学では, 自然災害等の被災者の経済的負担を軽減し, 志願者の進学のを確保するため, 検定料免除の特別措置を講じます。対象とする自然災害及び被災地域など, 免除に関する詳細は, 本学 Web サイトを確認してください。

本学 (入試情報・高大院接続>検定料免除・返還) Web サイト

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryō\\_henkan](https://www.kanazawa-u.ac.jp/admission/kenteiryō_henkan)

検定料の免除を希望する場合は, 出願前に本学学務部入試課まで連絡してください。

連絡先 TEL : 076-264-5169,5180 E-mail : boshu@adm.kanazawa-u.ac.jp



## 1. 新学術創成研究科の概要

融合科学共同専攻	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）等： <a href="https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/kyoudou/policy/">https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/kyoudou/policy/</a>
	研究指導教員： <a href="https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/kyoudou/faculty/">https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/kyoudou/faculty/</a>
	授与する学位： 修士（融合科学）
ナノ生命科学専攻	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）等： <a href="https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/nano/policy/">https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/nano/policy/</a>
	研究指導教員： <a href="https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/nano/faculty/">https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/nano/faculty/</a>
	授与する学位： 修士（ナノ科学）

## 2. 募集人員

	令和6年度10月期入学	令和7年度4月期入学
融合科学共同専攻	若干名	14名
ナノ生命科学専攻	若干名	12名

## 3. 出願資格

博士前期課程に出願することのできる者は、次の①から⑥のいずれかに該当する者です。

なお、「本学入学の前日」とは、令和6年度10月期入学試験に出願する場合は「令和6年9月30日」、令和7年度4月期入学試験に出願する場合は「令和7年3月31日」です。

- ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に定める大学を卒業した者及び本学入学の前日までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者及び本学入学の前日までに授与される見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び本学入学の前日までに修了見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び本学入学の前日までに修了見込みの者
- ⑤ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び本学入学の前日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修

することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者【注1】

- ⑦ 文部科学大臣の指定した者
- ⑧ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び本学入学の前日までに修了見込みの者
- ⑨ 学校教育法第102条第2項の規定により本研究科以外の大学院に入学した者であって、当該者を本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの【注1】
- ⑩ 次の1)から4)のいずれかに該当する者であって、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めたもの【注1】
  - 1) 本学入学の前日までに学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学見込みの者【注2、注3】
  - 2) 外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び本学入学の前日までに修了見込みの者
  - 3) 我が国において、外国の大学における15年の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定する当該課程を修了した者及び本学入学の前日までに修了見込みの者
  - 4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者及び本学入学の前日までに修了見込みの者
- ⑪ 本研究科において、個別の入学資格審査により、①に定める者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時までには22歳に達するもの【注1】

【注1】 ⑥、⑨、⑩または⑪により出願を希望する者は、出願前に別途審査を受ける必要があります。「4. 出願資格認定申請手続」(6ページ)を確認してください。

【注2】 出願資格⑩の1)は、学校教育法の規定に基づき、大学に「編入学」した者(短期大学、高等専門学校等を卒業した者などが対象)には適用しません。なお、休学した期間は、在学期間を含めないものとします。

また、以下の要件を満たす必要があります。

ア) 出願時の成績証明書に記載されている修得単位数の9/10以上が80%以上の評価をされている者で、3年次末においても同様の成績基準を満たす見込みの者

イ) 4年次に履修すべき必修科目などを除き、本学入学の前日までに卒業資格となるすべての単位を十分に余裕をもって修得する見込みの者

【注3】 出願資格⑩の1)により正規の課程を修了せずに入学した者の学部学生としての学籍上の身分は、退学となります。したがって、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部卒業(学士の学位)が要件になっているものについては受験資格がないので、十分注意してください。

## 4. 出願資格認定申請手続

### (1) 出願資格認定申請方法

「3. 出願資格」(4～5 ページ) の⑥, ⑨, ⑩又は⑪により出願を希望する者は, 各回の出願資格認定申請期間に「12. 連絡先」(12 ページ) あてメールで, 出願資格認定申請書類を電子データで提出してください。その際, メールの件名を「大学院新学術創成研究科博士前期課程出願資格認定申請: ●●(申請者氏名)」としてください。

※添付ファイルが 5GB を超える場合は, ファイル送信サービス等を利用してください。

### (2) 出願資格認定申請期間

第 1 回	第 2 回	第 3 回
令和 6 年 6 月 10 日 (月) ～6 月 14 日 (金) 午後 4 時 30 分まで	令和 6 年 9 月 5 日 (木) ～9 月 11 日 (水) 午後 4 時 30 分まで	令和 5 年 12 月 6 日 (金) ～12 月 12 日 (木) 午後 4 時 30 分まで

### (3) 出願資格認定申請書類

- ① 全員: 「5. 出願手続」(6～9 ページ) > (3) 出願書類 > ① Web 出願システムでアップロードするもの一式
- ② 「3. 出願資格」(4～5 ページ) の⑩の 1) により出願を希望する者のみ:
  - ア) 推薦書 (様式自由。厳封したもの。関係教員が記入し, 学長又は所属長が推薦する。)
  - イ) 履修の手引等 (授業内容一覧を含む。本学在学者は不要。)
  - ウ) 在籍期間証明書 (休学期間を明記したもの。本学在学者は不要。)

### (4) 認定審査の結果

認定審査の結果は, 申請者あてメールで通知します。

出願資格「有り」と認定された後, 「5. 出願手続」(6～9 ページ) の手続を行ってください。

## 5. 出願手続

### (1) 出願方法

各回の出願期間にオンライン (Web 出願システム) で必要な情報を登録し, 書類をアップロードし, 検定料 (30,000 円) を支払った後, 「12. 連絡先」(12 ページ) あてメールで, 「出願確認票 (提出用)」を電子データで提出してください。その際, メールを「大学院新学術創成研究科博士前期課程出願: ●●(出願者氏名)」としてください。

※国費外国人留学生は, 検定料を支払う必要がありません。Web 出願システムでの手続き方法が変わりますので, 出願前に「12. 連絡先」(12 ページ) に問い合わせてください。

Web 出願システム

[https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/internet\\_entry/](https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/admission/internet_entry/)

## (2) 出願期間

「出願手続から入学までの日程」(3 ページ) のとおり

※Web 出願システムでの必要な情報の登録、書類のアップロード、検定料の支払いは、出願期間の1週間前から可能です。ただし、「出願確認票(提出用)」の提出は、出願期間に限ります。

## (3) 出願書類

### ① Web 出願システムでアップロードするもの

◆記載内容が読み取れるよう丁寧にスキャンしてください。また、入学手続時に原本を提出する必要がありますので、それまで大切に保管してください。

番号	書類	備考
1	顔写真データ	出願者本人と判別できるもの。 カラー・上半身・無修正・無帽・正面向き・無背景・直近3ヶ月以内に撮影した100kB～5MBのjpg又はpng形式のデータを使用してください。
2	志願者調書(様式1)	必要事項を記入してください。
3	成績証明書◆	出身大学長、学部長又は出身短期大学長、高等専門学校長、学校長発行のもの。
4	卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書◆	学業成績証明書に卒業(修了)又は卒業(修了)見込みであることが記載されている場合は、卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書の提出は不要です。 注1. 短期大学専攻科又は高等専門学校専攻科の修了(見込)者は、専攻科及び本科両方の証明書を提出してください。 注2. 外国の学校の修了(見込)者は、日本語又は英語で作成された証明書を提出してください。
5	小論文(様式2-①・2-②, 2-③)	<b>融合科学共同専攻</b> 課題①「今まで学んできたこと・実施した研究内容(卒業研究など)」(様式2-①) 課題②「入学後に取り組みたい研究内容・研究計画(異分野融合の観点を含めて)」(様式2-②) <b>ナノ生命科学専攻</b> 課題「これまで(大学院入学以前を含む)どのような研究活動をしてきたか。また、大学院に入学後、どういった研究課題に取り組みたいか。」(様式2-③)
※以下は該当する者のみ		
6	学士の学位授与証明書等◆	「3. 出願資格」(4～5 ページ) の②により出願する者は、以下のものを提出してください。 [学位を授与された入学志願者]

番号	書類	備考
		<p>○独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与証明書 [学位の授与を申請中の入学志願者]</p> <p>○独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行した学位授与申請受理証明書 [学位の授与を申請予定の入学志願者]</p> <p>○短期大学長，高等専門学校長又は学校長が作成した学位の授与を申請する予定である旨の証明書（様式自由）</p> <p>※出願完了後，学位授与の申請を行わなかった場合，その他学士の学位が得られないこととなった場合は，その旨を金沢大学長あてに速やかに通知してもらうよう，短期大学長，高等専門学校長又は学校長に申し出てください。</p>
7	研究，開発業務等の概要 又は実務経験の概要	「3. 出願資格」（4～5 ページ）の⑩により出願する者は，「研究，開発業務等の概要」又は「実務経験の概要」（様式自由。A4 判 3 ページ以内）を作成してください。
8	受験許可書（様式 3）◆	官公庁・企業・団体等に在職のまま在学することを希望する者は，所属長（又は指導者）が作成した受験許可書を提出してください。なお，出願時に提出できない場合は，入学手続き時に承諾書等を提出することとします。出願前に「12. 連絡先」（12 ページ）に問い合わせてください。
9	パスポートの写し	外国籍の者は，パスポート（氏名が記載されたページ）の写しを提出してください。また，出願時に日本に在留している者は，在留カード（表，裏）の写しも併せて提出してください。
10	在留カードの写し	
11	戸籍抄本等の写し	改姓（改名）により証明書等の氏名と異なる者は，変更の事実を証明できる戸籍抄本等の写しを提出してください。

② 「12. 連絡先」（12 ページ）あてメールで提出するもの

番号	書類	備考
12	出願確認票（提出用）	<p>申込確認ページからダウンロードし，提出してください。</p> <p>注 1. 出願確認票は，必要な情報の登録，書類のアップロード，検定料の支払いが完了しないとダウンロードできません。</p>



番号	書類	備考
		注2. 出願確認票（確認用）とは異なるので、注意してください。

(4) 出願及び受験にあたっての注意事項

- ① 出願前（出願資格認定申請を行う場合は、その前）に必ず、希望する研究指導教員に連絡し、合格した場合の受入れの了承を得てください。
- ② すべての登録情報・提出書類に不備がないか確認してください。不備がある場合は出願を受け付けないことがあります。
- ③ 海外に在住し、試験日当日に渡日が困難な場合は、出願時に申し出てください。
- ④ **合格・入学手続後に登録情報・提出書類の不正が発覚した場合、入学手続時に原本の提出が必要な書類を提出できなかった場合は、合格・入学許可を取り消すことがあります。**

(5) 障がいのある者等の事前相談

障がい等があり、受験及び修学に特別な配慮を必要とする者は、出願前に「12. 連絡先」（12ページ）に以下の書類を添えて問い合わせてください。

- ① 事前相談書（様式自由）
  - 氏名
  - 障がいの種類・程度
  - 受験及び修学に特別な配慮を希望する事項
  - 大学等でとられていた配慮
  - 日常生活の状況
  - その他参考となる事項
- ② 医師の診断書
- ③ その他の参考書類（障害者手帳の写し等）

(6) その他

出願時に卒業又は修了見込みの資格で本研究科に合格した者は、入学手続時に卒業又は修了証明書を提出する必要があります。

## 6. 入学者選抜試験

(1) 試験期日及び場所

期日	試験科目等	試験場
「出願手続から入学までの日程」（3ページ）のとおり	口頭発表	金沢大学角間キャンパス
	面接	
	口頭試問	

※具体的な集合時間及び集合場所は、受験票印刷開始日以降に別途案内します。

※海外に在住し、試験日当日に渡日が困難と申し出た者については、「出願手続から入学までの日程」（3ページ）で示す期日を含む前一週間のいずれかの日に、オンラインで試験を受

験することが可能です。オンライン試験は Zoom・Webex 等を利用し、下記（2）の選抜方法と同様に実施します。

## （2）選抜方法

口頭発表 (10分以内)	出願時に提出した小論文に関する口頭発表 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 試験室にプロジェクター及びケーブル（HDMI 端子）を準備しますので、自身のパソコン及び接続に必要な機器を持参し、プレゼンテーションを行ってください。</li> <li>● 接続等に問題が発生しプレゼンテーションができない場合に備え、プレゼンテーションのデータを印刷（A4 判縦・1 ページ 2 スライド・両面印刷・左上ホチキス留め）し、5 部持参してください。</li> <li>● 海外在住の受験者には、別途指示します。</li> </ul>
面接 (10分以内)	発表内容に関する質疑応答（社会人経験者の場合は、実務経験の内容についても問う場合がある。）
口頭試問 (10分以内)	希望する主任研究指導教員の指導を受けるために必要な専門分野の基礎的な内容に対し、口頭にて出題 具体的な出題分野については、受験票印刷開始日以降に別途送付します。

## （3）合否判定基準及び評価基準

判定については、学士課程等で修得した分野の基礎的専門知識及び融合科学共同専攻では分野融合による新しい価値を創造しようとする意欲、ナノ生命科学専攻ではナノ生命科学に関する意欲を重視し、小論文、口頭発表、面接、口頭試問の結果を総合的に評価します。

## 7. 合格者発表

「出願手続から入学までの日程」（3 ページ）で示す日の午前 10 時頃

合格者の受験番号を研究科 Web サイト及び「オンライン合否照会システム」において発表します。合格通知書が必要な場合はオンライン合否照会システムからダウンロードしてください（合格通知書は送付しません）。

なお、電話やメール等による合否の照会には応じません。

研究科 Web サイト > 受験生へ

<https://gsinfiniti.w3.kanazawa-u.ac.jp/examinee/>

合否照会システム

<https://examination.w3.kanazawa-u.ac.jp/admission/goukakusyahappyou/>

## 8. 入学手続

### （1）入学手続期間

「出願手続から入学までの日程」（3 ページ）のとおり

※具体的な手続方法は、手続期間の 1 週間前までに別途案内します。

## (2) 入学時に必要な経費

- 授業料等納付金

入学料 282,000 円 (予定)

授業料 半期分 267,900 円 (予定) (年額 535,800 円 (予定))

※上記の納付金額は予定額であり、入学時又は在学中に入学料、授業料を改定した場合には、改定時から新入学料、新授業料を適用します。

※国費外国人留学生は、入学料及び授業料の納入は不要です。

- 学生教育研究災害傷害保険

学生教育研究災害傷害保険料 2年分 1,750 円 (予定)

学研災付帯賠償責任保険料 2年分 680 円 (予定)

※入学手続き時に振込みにより納入する必要があります。

## 9. 個人情報保護

金沢大学では、「国立大学法人金沢大学個人情報管理規程」等を制定し、本学が保有する個人情報の適正な管理と保護に努めています。

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報及び入学手続き時に提出を課す書類に記載されている全ての個人情報は、次の業務で利用します。

- 入学選抜及び入学手続きに関わる業務
- 入学後の学籍管理、修学指導に関わる業務及び健康診断等の保健管理に関わる業務
- 入学後の本学ポータルサイト利用、学内 LAN 利用、図書館利用及び図書貸出し等の学内サービス業務
- 入学料免除、授業料免除、奨学生選考等の修学支援に関わる業務
- 入学料・授業料の納入に関わる業務及び収納業務を委託する金融機関での必要な業務
- 入学選抜に関する個人が特定できない形で行う調査研究業務
- 在学者及びその家族を対象とする広報に関わる業務及び基金（寄附）に関わる業務
- 修了者に対する学修成果等調査（アウトカムズ、アセスメント）、同窓会及び基金活動へ支援、本学を通じた情報サービス・情報提供等に関する業務
- その他、個人が特定できない形で行う統計処理業務
- 融合科学共同専攻の学生は、北陸先端科学技術大学院大学において本学と同様の学内サービスを受けるための業務

## 10. 経済的支援制度

### (1) 入学料・授業料免除

免除を願い出た者に対し、選考の上、入学料の全額又は半額、納入すべき学期の授業料の全額、半額又は一部を免除することがあります。申請方法等の詳細は、入学手続き期間前に案内する大学院入学手続き要項で確認してください。

## (2) 奨学制度

### ① 日本学生支援機構及び民間の育英団体等の奨学金

独立行政法人日本学生支援機構，都道府県，市区町村，民間の育英団体等が主宰し，修了後に返還義務が生じる貸与奨学金と返還義務の生じない給付奨学金があります。詳細は，各団体の Web サイトを参照してください。

### ② 本学独自の外国人留学生を対象とする奨学制度

金沢大学では，私費外国人留学生を対象に，独自の奨学制度を設けています。詳細は，以下の web サイトを参照してください。

<https://intl-support.w3.kanazawa-u.ac.jp/tuition/private.php>

### ③ 給付型奨励金を伴う博士人材育成プログラム

金沢大学は，我が国そして世界の科学技術の進展及びイノベーションの創出の芽となり，未来社会の創造を担う卓越した博士人材を育成・輩出するため，志高い博士後期・博士課程学生への支援を強化しています。詳細は，本募集要項の巻末の一覧及び以下の web サイト「金沢大学博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト」を参照してください。

<https://phd.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

## 11. 融合科学共同専攻に係る留意事項

融合科学共同専攻は北陸先端科学技術大学院大学との共同教育課程です。次のことを確認の上，出願してください。

- 希望する主任研究指導教員が所属する大学に出願し，当該大学で入学者選抜試験を受験し，入学手続を行ってください。一方の大学で入学手続を完了した者は，他方の大学の入学者選抜試験に合格していても入学手続を行うことはできません。
- 学生は，希望する主任研究指導教員（主として研究指導を担当する専任教員）が所属する構成大学に本籍を置き，本籍大学の主任研究指導教員及び他方の構成大学の副主任研究指導教員を含む複数の指導教員体制により教育研究・学生生活等の指導助言を受けます。
- 本学で所定の課程を修めた者には，本学及び北陸先端科学技術大学院大学の連名により「修士（融合科学）」の学位を授与します。なお，修了要件として，北陸先端科学技術大学院大学において 10 単位以上を修得する必要があります。
- 北陸先端科学技術大学院大学が開講する科目は，北陸先端科学技術大学院大学のキャンパスに通学して履修することを原則としますが，メディアを利用した遠隔講義配信システムの活用や，集中講義形式による開講など，通学の負担を軽減する仕組みを導入しています。
- 本学に本籍を置く学生も，北陸先端科学技術大学院大学の図書館等の施設・設備を利用することができます。ただし，一部の施設設備については利用制限が設けられている場合があります。

## 12. 連絡先

金沢大学融合系事務部学生課大学院係

〒920-1192 石川県金沢市角間町（角間キャンパス南地区 自然科学本館 1 階）

TEL: 076-264-5971

E-mail: [s-yugo@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:s-yugo@adm.kanazawa-u.ac.jp)

## 外国人留学生就職促進教育プログラム

### 留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」

日本での就職・キャリアを考えてみませんか。  
プログラム履修者のうち、日本企業就職希望者は100%日本企業から内定を獲得しています。

本学では、日本での就職を検討している外国人留学生を対象にビジネス日本語教育・キャリア教育・インターンシップを軸とした付加プログラムを展開しています。これにより、高度な専門知識と技術を有するだけでなく、日本の企業文化や地域特性を理解した上で、日本企業で活躍できる人材を育成し、日本就職を支援します。

プログラム説明会は入学時期に応じて4月・10月の年2回行います。日程は入学後に通知しますので、是非出席してください。

なお、留学生キャリア形成・地域定着促進プロジェクト「Link KAGAYAKI」に係る問い合わせ先は以下のとおりです。

金沢大学学務部キャリア支援室 〒920-1192 金沢市角間町 TEL 076-264-6045

Link KAGAYAKI Web サイト  
<https://kagayaki.w3.kanazawa-u.ac.jp/>

Link KAGAYAKI 事務局メール  
[kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp](mailto:kagayaki-jimu@adm.kanazawa-u.ac.jp)



金沢大学は、我が国そして世界の科学技術の進展及びイノベーションの創出の芽となり、未来社会の創造を担う卓越した博士人材を育成・輩出するため、志高い博士後期・博士課程学生への支援を強化しています。「博士研究人材支援・研究力強化戦略プロジェクト (HaKaSe<sup>+</sup>)」において、博士人材としての活躍を後押ししており、経済的支援に加え、研究専念環境の充実、学際性・国際性の涵養、博士学位取得後のキャリア形成等に向けた支援を提供しています。以下は、本学が実施している博士人材育成事業です。

なお、いずれも我が国の科学技術の進展及びイノベーションの創出に向けた博士学生支援の一環として、国による機関支援を受けて実施している事業であり、事業期間の終了や制度変更により支援内容に変更が生じることがあります。

【給付型奨励金を伴う博士人材育成事業（令和6年度入学者適用）】

		ナノ精密医学・理工学 卓越大学院プログラム (HaKaSe <sup>+</sup> for WISE)	「知」の共創と往還で実現する 新価値創造人材育成 プロジェクト (HaKaSe <sup>+</sup> for SPRING)	金沢大学 AI Open Science 基盤の 知識循環が可能にする 先駆的 AI クロスオーバー 博士人材育成プロジェクト (HaKaSe <sup>+</sup> for BOOST)	
事業内容		学位プログラム	研究支援・キャリア形成支援	AI 分野及び AI 分野における新興・融合領域（次世代 AI 分野）の人材育成及び先端的研究開発の推進	
対象研究科		自然科学 医薬保健学総合 先進予防医学 新学術創成	全研究科	全研究科	
課程		博士前期・修士 博士後期・博士	博士後期・博士	博士後期・博士	
募集定員		12 名/年度	年度により異なる。 大学全体で 169 名を支援	2 名/年度	
支援期間（原則）		博士前期・修士課程 2 年及び 博士後期課程 3 年の 5 年間 又は博士課程（4 年制）の 4 年間の 標準修業年限内	博士後期課程又は博士課程（4 年制） の標準修業年限内	博士後期課程又は博士課程（4 年制） の標準修業年限内	
経済的 支援 内容	博士前期 ・修士 課程	奨励金/月	50,000 円（原則）		
		RA 給与	上限 約 360,000 円/年		
	博士後期 博士・ 課程	奨励金/月	180,000 円（原則）	180,000 円	250,000 円
		研究費/年	400,000 円	400,000 円	900,000 円
		RA 給与	上限 約 240,000 円/年 博士課程（4 年制）1 年次のみ	—	—
	旅費等支援		独自支援有	独自支援有	独自支援有
	入学科免除		全額免除	—	—
授業料免除		全額免除	半額免除	半額免除	
対象制限等		[以下に該当する博士後期・博士課程の者は奨励金受給不可] ・日本学術振興会特別研究員 ・日本学術振興会特別研究員 (DC) ・国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生 ・日本学生支援機構の奨学金を受ける者 ・日本学生支援機構の学習奨励費を受ける留学生 ・母国の奨学金等の支援を受ける留学生 ・金沢大学独自の奨学金等（主として生活費相当額の支援を目的とするもの）を受ける者 ・アルバイトによる報酬を受ける者 (TA, RA 等の一部例外を除く)	[次のいずれかに該当する者は申請対象外] ・日本学術振興会特別研究員 (DC) ・国費外国人留学生制度による支援を受ける留学生 ・母国の奨学金等の支援を受ける留学生 ・金沢大学独自の奨学金等（主として生活費相当額の支援を目的とするもの）を受ける者  [次に該当する社会人学生は申請対象外] ・所属する大学や企業等から生活費相当額として十分な水準（240 万円/年）の給与・役員報酬等の安定的な収入を得ている者 ・所属企業等から十分な生活費相当額（240 万円/年を基準とする）を受給可能な制度があるにもかかわらず、受給していない者 なお、上記の収入要件とは別に、選抜学生としての研究専念義務を果たし得ない、あるいは本事業におけるキャリア開発・育成コンテンツの取組に専念できる状況にないと判断される場合には、支援対象としない。  [外国人留学生] 本学大学院修了後、3 年以上、日本の企業、大学、研究所等（在外の現地法人を含む）又は外資系企業の日本国内の事業所に就職することを誓約することが必要		

# 志願者調書

受験番号

※ 記入不要

## 《全員記入》

氏 名	
希望する主任研究指導教員	※ 必ず事前に、了承を得てください。

## 《融合科学共同専攻に出願する者のみ記入》

希望するチャレンジ	<input type="checkbox"/> ライフイノベーション <input type="checkbox"/> グリーンイノベーション <input type="checkbox"/> システムイノベーション ※ 新学術創成研究科 Web サイトを参考に、挑戦的なイノベーションの枠組み（3つのチャレンジ）のうち、1つを選択してください。入学後も変更可能です。
-----------	--

## 《高等学校・大学等は全員記入、小学校・中学校は出願資格③、⑤、⑥、⑨、⑩又は⑪により出願する者のみ記入》

学 歴			
学校名（取得学位）		入学年月 卒業（見込）年月	正規の 修学年数
小学校		年 月 入学 年 月 卒業	年
中学校		年 月 入学 年 月 卒業	年
高等学校	高 等 学 校 高等専門学校	年 月 入学 年 月 卒業	年
大学等	大 学                    学 部                    学 科 短期大学                学 域                    学 類 専門学校                専 攻 (取得学位：                    )	年 月 入学 年 月 卒業 年 月 卒業見込 その他 (                    )	年

## 《Web 出願システムで「職歴あり」を選択する者のみ記入》

職 歴	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
(在職者のみ) 入学の場合	<input type="checkbox"/> 退職する <input type="checkbox"/> 退職しない

【様式 2-①】

受験番号	※
------	---

小論文 \* 融合科学共同専攻の志願者のみ

課題①「今まで学んできたこと・実施した研究内容（卒業研究など）」

※文字は 10.5 ポイント，日本語 1,000 字程度又は英語 600 ワード程度。

※図など（数の制限なし）を含め 1 ページ以内で作成すること。

氏 名

※欄は記入しないでください。



【 様式 2-② 】

受験番号	※
------	---

小論文 \* 融合科学共同専攻の志願者のみ

課題②「入学後に取り組みたい研究内容・研究計画（異分野融合の観点を含めて）」

※文字は 10.5 ポイント，日本語 1,000 字程度又は英語 600 ワード程度。

※図など（数の制限なし）を含め 1 ページ以内で作成すること。

氏 名

※欄は記入しないでください。

【 様式 2-③ 】

受験番号	※
------	---

小論文 \* ナノ生命科学専攻の志願者のみ

課題：「これまで（大学院入学以前を含む）どのような研究活動をしてきたか。  
また、大学院に入学後、どういった研究課題に取り組みたいか。」

※文字は 10.5 ポイント，日本語 2,000 字程度又は英語 1,000 ワード程度。

※図など（数の制限なし）を含め 2 ページ以内で作成すること。

氏 名

※欄は記入しないでください。

## 受 験 許 可 書

金沢大学大学院新学術創成研究科長 宛

このたび、 \_\_\_\_\_ が貴大学大学院新学術創成研究科  
(博士前期課程) を受験することを許可します。

なお、本人が貴大学大学院新学術創成研究科に入学した場合は、  
在職のまま在学することを認めます。

年 月 日

(所属・職名)

(氏名・自署)